

2018年5月10日
川崎汽船株式会社
中部電力株式会社
豊田通商株式会社
日本郵船株式会社

国内における船舶向け LNG 燃料供給の事業化決定と合弁会社設立

川崎汽船株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：村上英三）、中部電力株式会社（本社：名古屋市東区、代表取締役社長：勝野哲）、豊田通商株式会社（本社：名古屋市中村区、社長：貸谷伊知郎）、および日本郵船株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：内藤忠頭）（以下「4社」）は、国内における船舶向けの液化天然ガス（以下「LNG」）燃料供給の事業化を決定し、本日、合弁会社（注1）を設立しました。

LNG 燃料は重油に比べて大気汚染物質や温室効果ガスの排出を低減でき（注2）、国際的に強化される船舶の排出ガス規制への対応としても、重油に代わる有力な燃料と位置づけられています。

4社は、2018年1月26日に発表した通り、中部地区における船舶向け LNG 燃料供給の事業化に向けて検討を続けてきましたが、今般、4社共同での事業化に合意し、本日、LNG 燃料販売事業に関する合弁会社2社を設立しました。今後は LNG 燃料供給船から船舶に対して「Ship to Ship」方式（注3）により燃料供給を行う事業の開始に向けて、4社のノウハウと強みを活用し準備を進めてまいります。

（注1）合弁会社の概要

1. 商号：①セントラル LNG マリンフューエル株式会社
②セントラル LNG シッピング株式会社
2. 事業内容：①LNG 燃料販売事業
②船舶保有事業
3. 株主：川崎汽船、中部電力、豊田通商、日本郵船
4. 設立年月：2018年5月10日

(注2) LNG の特徴

重油に比べ、硫黄酸化物 (SO_x) や粒子状物質 (PM) の排出は約 100%、窒素酸化物 (NO_x) は最大 80%、二酸化炭素 (CO₂) は約 30%の削減が見込めます。

(注3) Ship to Ship 方式

岸壁・栈橋に係留中の LNG 燃料船、もしくは錨泊中の LNG 燃料船に LNG 燃料供給船が接舷 (横付け) して LNG 燃料を供給する方法。



(イメージ:左から LNG 燃料供給船、LNG 燃料船)

以上